

## 青木陵子 Ryoko Aoki

1973 兵庫県生まれ

現在京都府在住

1999 京都市立芸術大学大学院 ビジュアルデザイン科修了

### 主な個展

- 2024 「境界線のはなし」 Take Ninagawa、東京
- 2020 「変化する自由分子の WORKSHOP」 (with 伊藤存)、ワタリウム美術館、東京
- 2018 「Ryoko Aoki and Zon Ito」 (with 伊藤存)、Yamamoto Keiko Rochaix、ロンドン  
「三者面談で忘れてる NOTEBOOK」 Take Ninagawa、東京
- 2011 「みどり色のポケット」 Take Ninagawa、東京
- 2010 「ワイルドフラワーのたね」 On Sundays、東京
- 2009 「Camp」 (with 伊藤存)、Konrad Fischer Gallery、デュッセルドルフ  
「オブジェクト・リーディング」 フォイル・ギャラリー、東京
- 2007 「Under the Secret」 児玉画廊、大阪  
「Ripples」 Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2005 「Super Flyer」 児玉画廊、東京  
「Hammer Projects: 青木陵子」 Hammer Museum、ロサンゼルス
- 2004 「Sliding Circle」 Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス
- 2002 「Gluesights」 児玉画廊、大阪  
「クリテリウム 51 青木陵子」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸

### 主なグループ展

- 2025 Curation ⇄ Fair 「Pocket Full of Sparks: それは小さいのにとっても大きい」 (キュレーション: 兼平彦太郎)、kudan house、東京
- 2024 AWT Focus 2024 「大地と風と火と: アジアから想像する未来」 (キュレーション: 片岡真実) 大倉集古館、東京  
神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond (with 伊藤存)  
「an arena」 Barbati Gallery、ヴェネツィア  
恵比寿映像祭 2024 「月へ行く 30 の方法」 (with 伊藤存)

# TAKE NINAGAWA

- 2023 「Body, Love, Gender」(キュレーション: 椿玲子) Gana Art Center、ソウル  
AWT Focus 2023「平衡世界: 日本のアート、戦後から今日まで」(キュレーション: 保坂健二郎) 大倉集古館、東京  
「15」Take Ninagawa、東京  
「ケアリング/マザーフード: 「母」から「他者」のケアを考える現代美術」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2022 「視覚トリップ展」ワタリウム美術館、東京
- 2021 「日常のあわい」(with 伊藤存)、金沢 21 世紀美術館  
「South South 東京」Take Ninagawa、東京
- 2020 「コレクション 1: 越境する線描」国立国際美術館、大阪
- 2019 Reborn-Art Festival 2019「いのちのてざわり」(with 伊藤存)、石巻、宮城
- 2018 「国立国際美術館コレクション: 美術のみかた 自由自在」豊橋市美術博物館、愛知;  
福岡県立美術館  
「現代アートの宝箱 OPAM 利岡コレクション」大分県立美術館  
Public Art Research Center 8「Parc 8: 橋をかける」(with 伊藤存)、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)  
「ヘレン・アット・ザ・マウンテン」てつおのガレージ、栃木  
「181 枚の記憶 高松市美術館特別展の歩み」高松市美術館  
「10th Anniversary」Take Ninagawa、東京
- 2017 「In Focus: Contemporary Japan」ミネアポリス美術館、ミネソタ州、アメリカ  
「Post-Formalist Painting」駒込倉庫、東京  
「Reborn-Art Festival in Tokyo」(with 伊藤存)ワタリウム美術館、東京  
Reborn-Art Festival 2017「人が生きる術」(with 伊藤存)、石巻、宮城  
「コレクション 風景表現の現在」国立国際美術館、大阪  
「椿会展 2017 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 2016 「現代地方譚 4 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー / 旧三浦邸、高知  
「Location, Location, Location」Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス  
「トレッドソン・ヴィラ・マウンテン・スクール 2016」トレッドソン別邸、日光、栃木; statements、東京  
「椿会展 2016 初心」資生堂ギャラリー、東京  
「囚われ、脱獄、囚われ、脱獄」statements、東京
- 2015 「Two Sticks」ヴロツワフ建築博物館、ポーランド  
「現代地方譚 3 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー / 旧三浦邸、高知  
「古今東西 100 人展: アイ・ラブ・アート 13 ワタリウム美術館コレクション」ワタリウム美術館、東京

# TAKE NINAGAWA

- 「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」東京オペラシティ アートギャラリー  
「Wabi Sabi Shima: Of the Aesthetic of Perfection and Chaos in the Japanese Archipelago」Thalie Art Foundation、ブリュッセル  
「椿会展 2015 初心」資生堂ギャラリー、東京  
「トレッドソン別邸のため」トレッドソン別邸、栃木  
「still moving」京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Champasari Art Gallery、マハーサーラカム大学、タラット、タイ；Koala space、天津；53 美術館、広州；香港アート・センター；高雄市文化センター、中国；マラヤ大学美術館、クアラルンプール；Muzium & Galeri Tuanku Fauziah、ペナン；マレーシア科学大学、ペナン
- 2014 「拡張するファッション」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川；水戸芸術館現代美術センター  
「開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画：クロニクル 1995-」東京都現代美術館  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Omani Society Fine Arts、マスカット、オマーン；M16 Artspace、キャンベラ；Gallery Central、パース、オーストラリア  
「椿会展 2014 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 2013 「5th Anniversary」Take Ninagawa、東京  
「Now Japan: Exhibition with 37 Contemporary Japanese Artists」Kunsthal KAdE、アメルスフォート、オランダ  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
メトロポリタン美術館、マニラ；龍頭山美術展示館、釜山；安養ロッテ・ギャラリー、安養；済州道立美術館；在大韓民国日本国大使館広報文化院、ソウル；ホーチミン市労働文化会館展示館；ベトナム国立美術博物館、ハノイ  
「椿会展 2013 初心」資生堂ギャラリー、東京  
「Re: Quest - 1970 年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館
- 2012 5th International Biennial of Media Art 「Experimenta Speak to Me」メルボルン  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
シントラ現代美術館、ポルトガル；アリカンテ大学美術館、スペイン；  
Theocharakis Foundation Museum、アテネ；マルミタロ、ヘルシンキ
- 2011 「世界制作の方法」国立国際美術館、大阪  
「クロスカウンター・日英アーティスト共有展」Capsule、東京  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Gezira Art Center、カイロ；Tkachi、サンクトペテルブルク、ロシア；国立現代美術センター、モスクワ；エルンスト美術館、ブダペスト

# TAKE NINAGAWA

- 「CAFE in Mito 2011- かかわりの色いろ」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2010 「高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01 もうひとつの・カーニバル」  
高松市美術館  
「alive - birth of a tale」Gallery Factory、ソウル  
「The More I Draw - Drawing as a Concept for the World」ジエゲン現代美術館、  
ドイツ  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
メキシコ国自治大学付属チョポ美術館、メキシコシティ；トロント日本文化セン  
ター；日米文化会館ドイザキギャラリー、ロサンゼルス  
「Hana 現実と虚構が溶け合った視覚の冒険」小山市立車屋美術館、栃木  
「絵画の庭 - ゼロ年代日本の地平から」国立国際美術館、大阪
- 2009 「Twist and Shout: Contemporary Art from Japan」バンコク芸術文化センター  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Aberystwyth Arts Centre、アベリストウィス、イギリス；ローマ日本文化会館；  
ケルン日本文化会館、ドイツ  
「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
原美術館、東京
- 2008 「Art on Paper」ノース・カロライナ大学グリーンズボロ校、ノース・カロライナ州、  
アメリカ  
「MOT コレクション：サバイバル・アクション」東京都現代美術館  
「ライフがフォームになるとき - 未来への対話 / ブラジル、日本」サンパウロ近  
代美術館
- 2007 ドクメンタ 12 「The Migration of Forms」カッセル  
「夏への扉 - マイクロポップの時代」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2006 「Psychic Scope」Space\*C、ソウル  
「Rapt! 20 contemporary artists from Japan」West Space、メルボルン
- 2005 「夏の蜃気楼 自然をうつしだす現代の作家たち」群馬県立館林美術館  
「Paper」Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2004 「Past in Reverse: Contemporary Art of East Asia」サンディエゴ美術館、カリフ  
ォルニア州、アメリカ  
「アートがあれば：Why Not Live For Art?」東京オペラシティ アートギャラリー  
「on paper」Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2003 「Study」タカ・イシイギャラリー、東京  
「Slow Painting」大和ラジエーターファクトリー・ビューイングルーム広島  
「Dark Shadows」Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス  
「Girls Don't Cry」バルコミュージアム、東京
- 2002 「Art in Transit」パレスサイドホテル、京都

# TAKE NINAGAWA

「想画集」ヴォイスギャラリー、京都

2001 横浜トリエンナーレ 2001「メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて」(with 伊藤存)

「Kyoto x Amsterdam - New Directions」京都芸術センター

2000 「The J-Way」Lydmar Hotel、ストックホルム

1998 「どないやねん！現代日本の創造力」パリ国立高等美術学校

## レジデンシー

2025 トレッドソン・ヴィラ・レジデンシー (with 伊藤存)

2016 「現代地方譚4 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー、高知

2015 「現代地方譚3 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー、高知

## 主なコレクション

ハマー美術館、ロサンゼルス

大分県立美術館

国立国際美術館、大阪

資生堂

高松市美術館

東京都現代美術館

ニューヨーク近代美術館